



JCAB APPROVED

HEAD OFFICE : SUBARU BLDG.
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

NO. 200-020 DATE H. 1-5-30 (SUPERSEDES NO.)
REV. DATE (SUPERSEDES NO.)
REASON

1. 標 題 : 操縦輪組立、チューブ強度向上品の取付。
2. 適用機体 : FA-200 S/N 12 以降の機体。
3. 適用度 : 要望事項
4. 目 的 : 操縦輪組立、チューブのロックピン固定用孔部に疲労クラックが発生し、曲技飛行中に切損する事例があったため、任意装備として強度向上品を供給する。
5. 指 示 : 操縦輪組立、チューブの肉厚を変更する。
(.035 IN から .058 IN に変更する。)
6. 実施時期 : 任 意
7. 航空局承認 : 航空局承認 (東-1-001) 1年5月18日
8. 所要部品 : 各装備形態の「所要部品表」による。
9. 特殊工具 : なし
10. 重量重心 : 無視出来る。
11. 準拠資料 : なし
12. 作業手順 :

操縦輪組立 200-524027-001 装備の機体 (#12~#100)

操縦輪チューブのみの交換

- (1) サービス・マニュアル 項目 8-2-7 により操縦輪組立を取り外す。
- (2) FIG-1 に於いて、操縦輪とチューブを取付けているリベット 0413216 及び 0413216-4 を切断し分離する。

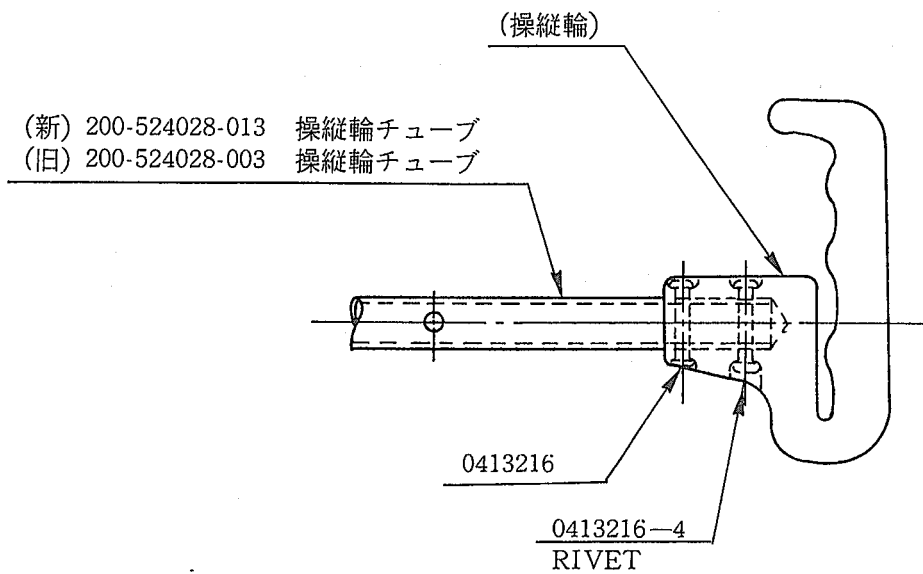


FIG. -1

- (3) 新しい操縦輪チューブ 200-524028-013 をリベット 0413216 及び 043216-4 により取付ける。
- (4) サービス・マニュアル項目 8-2-7 により操縦輪組立を取付ける。
 この場合、取付ナット NAS679A3W を新品と交換する。入手困難な場合は、MS21042L3 又は相当品のセルフ・ロック・ナットを使用してもよい。
 (以下同様)

—所要部品—

No.	部品番号	部品名称	1機分当個数	備考
1	200-524028-013	操縦輪チューブ	2	操縦輪チューブのみの 交換の場合。
2	0413216	リベット	2	
3	0413216-4	リベット	2	
4	NAS679A3W	ナット	2	

操縦輪組立としての交換

- (1) サービス・マニュアル項目 8-2-7 により操縦輪組立を取り外す。
- (2) 操縦輪組立 200-524027-001 の代わりに新しい操縦輪組立 200-524046-101 を取付ける。
(サービス・マニュアル項目 8-2-7 参照)
この場合、取付ナット NAS679A3W を交換のこと。及び#31 迄の機体はボルト AN3-13A をボルト AN173-13A と交換のこと。

—所要部品—

No.	部品番号	部品名称	1機分当個数	備考
1	200-524046-101	操縦輪組立	2	操縦輪組立で交換の場合。 (#31迄の機体)
2	NAS679A3W	ナット	2	
3	AN173-13A	ボルト	2	

操縦輪組立 200-524046-001 装備の機体 (#101~)

- (1) サービス・マニュアル項目 8-2-7 により操縦輪組立を取り外す。
- (2) FIG-2 に於いて操縦輪とチューブを取付けている、スプリング・ピン 5 ϕ ×32を取り外し分解する。

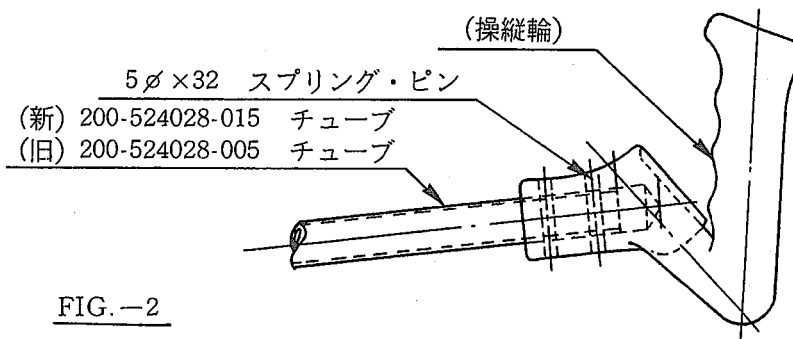


FIG. -2

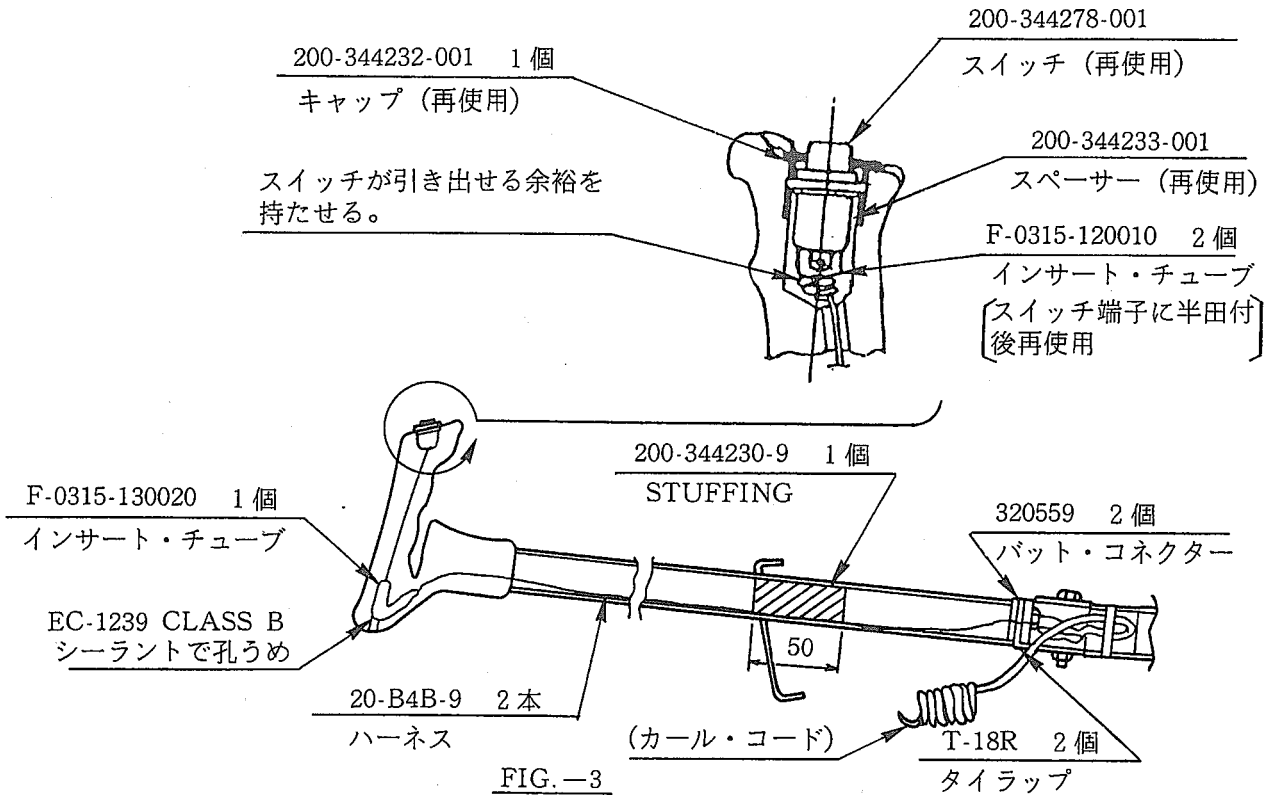
- (3) 新しい操縦輪チューブ 200-524028-015 を新品のスプリング・ピン 5 ϕ ×32により取付ける。
- (4) サービス・マニュアル項目 8-2-7 により操縦輪組立を取付ける。
この場合、取付ナット NAS679A3W を新品と交換する。

—所要部品—

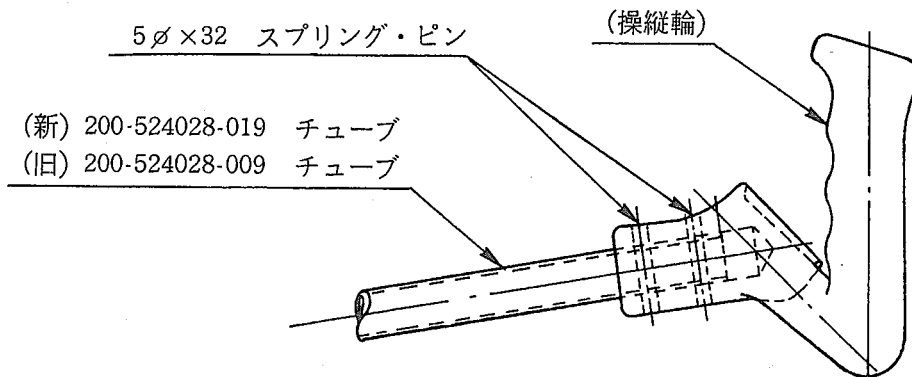
No.	部品番号	部品名称	1機分当個数	備考
1	200-524028-015	操縦輪チューブ	2	
2	5 ϕ ×32	スプリング・ピン	4	
3	NAS679A3W	ナット	2	

操縦輪組立 200-524046-011 & -012 装備の機体 (#101~)

(ICS, SWITCH 装備の機体)



- (1) FIG-3 に於いて操縦輪チューブより出ているハーネスとカール・コードを接続しているバット・コネクター部でハーネス2本を切断する。
- (2) 同上タイラップを取り外す。
- (3) サービス・マニュアル項目 8-2-7 により操縦輪組立を取り外す。
- (4) FIG-4 に於いて操縦輪とチューブを取付けているスプリング・ピン 5 ϕ ×32 を取り外し分解する。



- (5) 操縦輪チューブと操縦輪に入っているハーネス 2 本を取り外す。(FIG-3)
- (6) 新しいハーネス 20-B4B-9 2 本(取り外したハーネスより若干長目のもの)を操縦輪と新しい操縦輪チューブ 200-524028-019 に通し、スイッチ等を FIG-3 の通り取付ける。(取外しと逆の手順により)
- (7) FIG-4 に於いて新しい操縦輪チューブを新品のスプリング・ピン 5 ϕ ×32 により取付ける。
- (8) サービス・マニュアル項目 8-2-7 により操縦輪組立を取付ける。
この場合、取付ナット NAS679A3W を新品と交換する。
- (9) 操縦輪チューブより取り出したハーネスとカール・コードを、バット・コネクタ-2 個で接続し、タイラップ T-18R 2 個で固定する。(FIG-3 参照)

—所要部品—

No.	部品番号	部品名称	1 機分当個数	備考
1	200-524028-019	操縦輪チューブ	2	
2	5 ϕ ×32	スプリング・ピン	4	
3	NAS679A3W	ナット	2	
4	320559	バット・コネクタ-	4	
5	20-B4B-9	ハーネス	1.5m	
6	200-344230-9	スポンジ	2	
7	T-18R	タイラップ	4	
8	F-0315-130020	インサート・チューブ	2	
9	F-0315-120010	インサート・チューブ	4	
10	EC1239 CLASS B	シーラント	AR	

操縦輪組立 200-524046-021 装備の機体 (航大機)

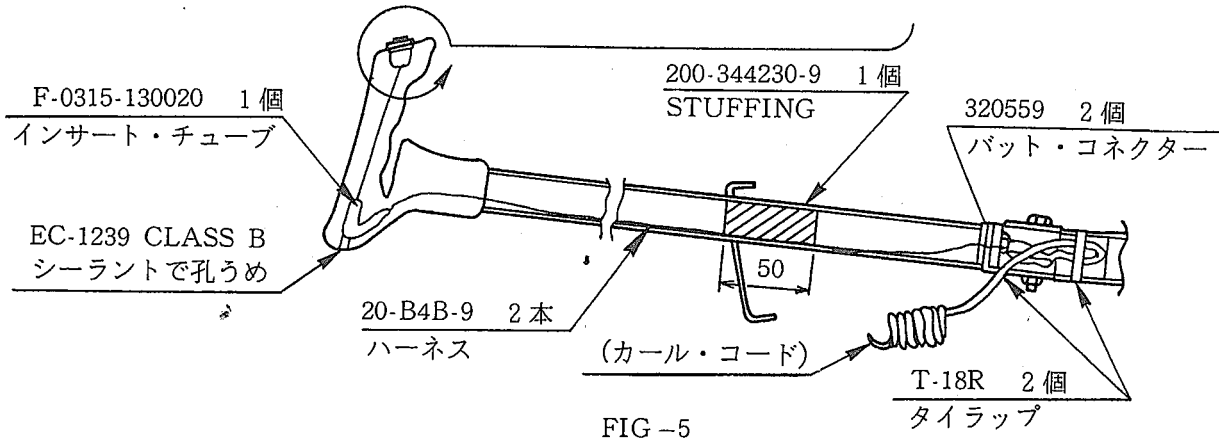
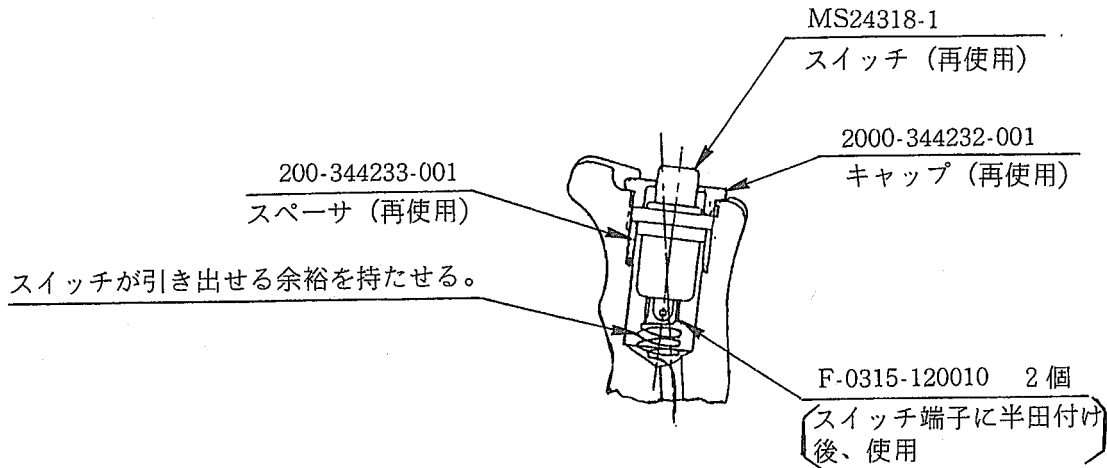


FIG-5

- (1) FIG-5 に於いて操縦輪チューブより出ているハーネスとカール・コードを接続しているバット・コネクタ部でハーネス4本を切断する。
- (2) 同上タイラップを取り外す。
- (3) サービス・マニュアル項目 8-2-7 により操縦輪組立を取り外す。
- (4) FIG-6 に於いて操縦輪とチューブを取付けているスプリング・ピン 5 ϕ ×32 を取り外し分解する。

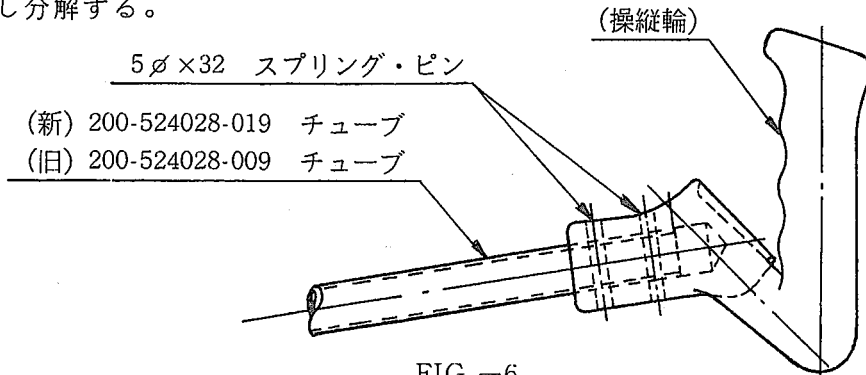


FIG.-6

- (5) 操縦輪チューブと操縦輪に入っているハーネス 4 本を取り外す。(FIG-5)
- (6) 新しいハーネス 20-B4B-9 4 本(取り外したハーネスより若干長目のもの)を操縦輪と新しい操縦輪チューブ 200-524028-019 に通し、スイッチ等を FIG-5 の通り取付ける。(取外しと逆の手順により)
- (7) FIG-6 に於いて新しい操縦輪チューブを新品のスプリング・ピン 5 ϕ ×32 により取付ける。
- (8) サービス・マニュアル項目 8-2-7 により操縦輪組立を取付ける。
この場合、取付ナット NAS679A3W を交換する。
- (9) 操縦輪チューブより取り出したハーネスとカール・コードをバット・コネクタ 4 個で接続し、タイラップ T-18R 2 個で固定する。(FIG-5 参照)

—所要部品—

No.	部品番号	部品名称	1 機分当個数	備考
1	200-524028-019	操縦輪チューブ	2	
2	5 ϕ ×32	スプリング・ピン	4	
3	NAS679A3W	ナット	2	
4	320559	バット・コネクタ	8	
5	20-B4B-9	ハーネス	3 m	
6	200-344230-9	スポンジ	2	
7	T-18R	タイラップ	4	
8	F-0315-130020	インサート・チューブ	2	
9	F-0315-120010	インサート・チューブ	8	
10	EC1239 CLASS B	シーラント	AR	

操縦輪組立 200-524046-031 装備の機体 (#101~)

(操縦輪が ICS, スイッチ取付可能のもの)

- (1) 作業手順 : 操縦輪組立 200-524046-001 と同じ
- (2) 所要部品 : PAGE 3 OF 8 と同じ

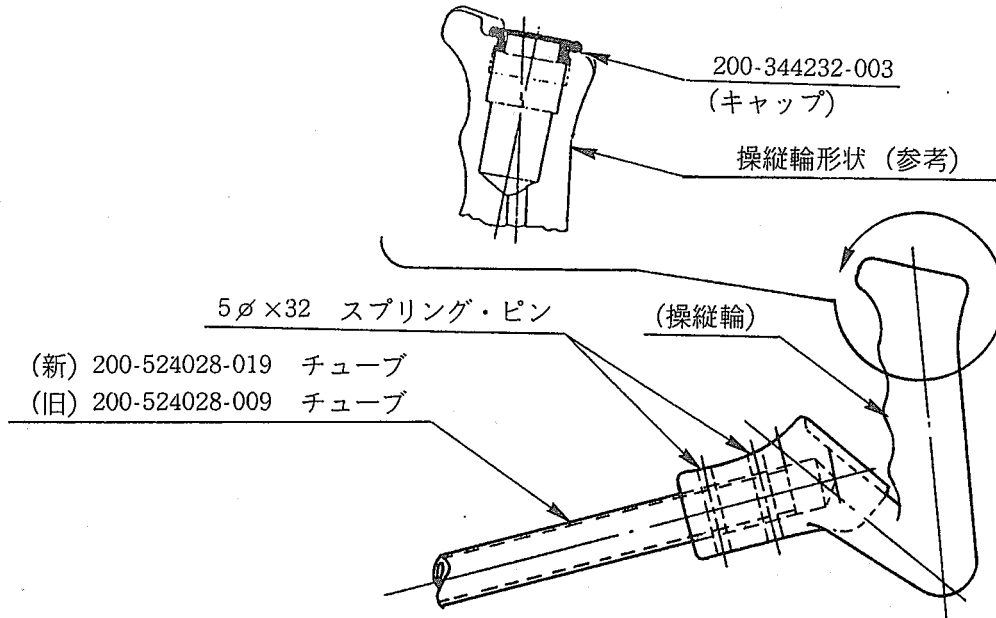


FIG. -7

13. その他 :

本作業終了後は、有資格整備士の確認を受け、航空日誌に記録すること。